

◆◆◆ おかげさまで 5 周年 ◆◆◆

開館5周年記念

蔵まつり

5月14日(金)

テレビ、ラジオでお馴染の大田黒浩一さんをお招きし、
まちを元気にするお話を熱く語っていただきます。

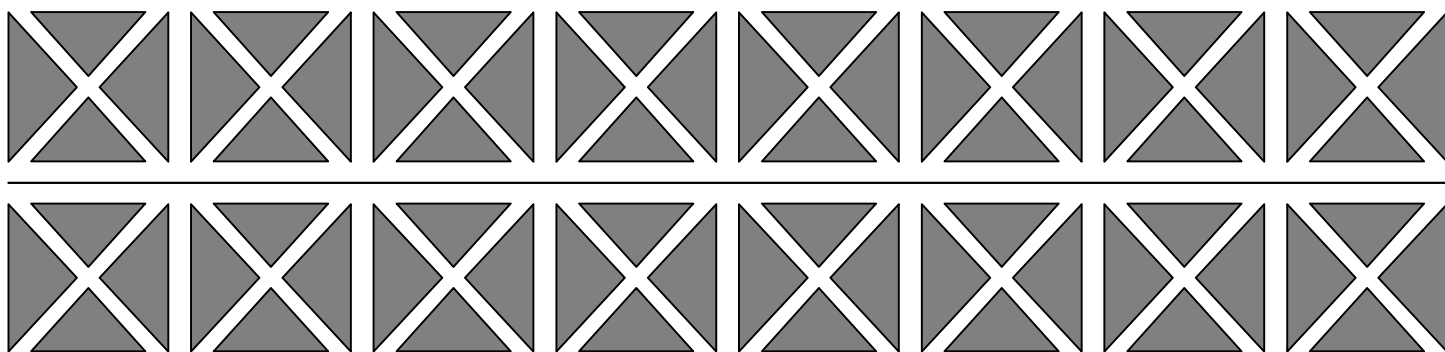
大田黒浩一さんの講演会

18:30開場 19:00開演

会員特典として優待整理券を配布します！

高瀬蔵はおかげさまで節目となる開館5周年を迎えます。これも会員の皆様のご協力・ご努力の賜物と有難く存じます。今後もさらなる発展を祈り、ささやかですが、記念イベントを開催しますので、皆様お気軽にお越しください。

理事長 猿渡 洋悟



高瀬蔵恒例！ 第4回ガラクタ市が開催！

2月28日（日）、高瀬蔵恒例の「ガラクタ市」を開催しました。

電動マッサージチェア、滑り台、フラフープ、食器類、顕微鏡、譜面台など……。懐かしい年代もののブックカバーも想像以上に好評でした。来年は多くの会員の方にガラクタ(?)のご提供をお願いして、たくさんのサプライズをお客様に楽しんで頂きたいと思えます。

このイベントによる収益は、NPO法人の運営費に充てさせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。(商店街イベント部会)

高瀬くらぶ マイスター倶楽部



2月7日(日)のお菓子づくり体験講座は上生菓子の作り方を学びました。和菓子のルーツである上生菓子を家庭でも作りたい思いで、積極的に質問しメモを取っておられる参加者の方々が、とても印象的でした。そして山寄講師によりどんどん出来上がってくる上生菓子に興味深く視線を送っていました。

参加者からは「非常に参考になりました、家庭でも早速作ってみたいと思えます」「和菓子を作るのは難しいと思っていましたが、レシピと分かりやすい説明で、とても楽しかったです。」などの感想をいただき、蔵は、和菓子の甘い香りに包まれていました。



(文化部会)

高瀬夜噺

第10夜(1月28日)は「ミャンマーみやげ話」をテーマとして平野喜幸氏により話題提供して頂きました。平成10年から平成16年までの6年間、ミャンマーにて循環型農業の普及と学校運営の仕組みに取り組んできた事の説明や海外ならではの苦労話など資料を参考に話して頂きました。

第10夜 ミャンマーみやげ話



第11夜 西南の役の関ヶ原、高瀬大会戦



第11夜(2月25日)は「西南の役の関ヶ原、高瀬大会戦」をテーマとして玉名商工会議所に勤務されている、松本 勉氏に話題提供して頂きました。話によると、西南の役と言えば、田原坂が有名であるが、本当の激戦地は明治10年2月25日から27日の3日間、菊池川を挟んだ高瀬の戦いが一番の激戦だったとの内容。官軍、薩軍の3日間の新入ルート等プロジェクターにより分かりやすく話して頂きました。近代日本の幕開けに思いを巡らせた夜となりました。

第12夜(3月25日)は、「バードウォッチングの醍醐味」と題し、酒井憲隆氏からのお話。皆さんの家の庭、あるいは近所によく来る鳥、時々来る珍しい鳥など、見られた経験があると思われます。私はその鳥たちに魅せられて、北海道から九州までバードウォッチングをやってきましたとの事。数多くの写真をスライドに織り交ぜながら説明いただいた。鳥の種類之多さと美しさを再発見すると共に自然環境を守っていかねばならない事を再認識させられた夜噺となりました。

第12夜 バードウォッチングの醍醐味



高瀬から発信！誰もが集える商店街づくり 地域の縁側フォーラム開催！

3月8日（月）、高瀬蔵にて「地域の縁側フォーラム」が玉名地域振興局の主催で開催されました。

メインテーマは「高瀬から発信！誰もが集える商店街づくり」です。

フォーラムはパネルディスカッション形式で、パネリストは現在注目されている商店街の代表者と大学の学識経験者、高瀬まちづくり協議会の代表者という構成です。

まず先進事例の紹介で人吉市鍛冶屋町通り、熊本市の健軍商店街、福岡市博多区の上川端商店街の取り組みが紹介されました。この3商店街に共通して言えるのは、「商店街から発信するまちづくり」をめざしているということでしょう。お話しを聞いていると、皆さん前向きで商店街が元気！という印象を受けました。

その事例を踏まえつつ、高瀬のまちづくりの方向性として、崇城大学の秋元先生と九州看護福祉大学の西島先生からは「建築と福祉」という観点から、「高瀬地区でのまちなみ保存とバリアフリー」についてのお話がありました。

地元まちづくり協議会の矢田部会長からは高瀬の現状報告として「まちなみ修景事業」や「愛のバンコ作戦」などをご紹介。今後さらに「高瀬商店街が発信するまちづくり」に皆さん期待していきましょう！（まちづくり推進部会）



パネルディスカッションの様様

